

観光立国の実現は地方(地域)から

旅館経営は新時代に突入

座談会

日々変化が激しい業界の中、新時代に対応したビジネスモデルを築いている旅館・ホテルがある。生産性向上や人手不足など、課題にどう向き合っているのか。特色ある経営スタイルの旅館・ホテル経営者氏にお集まりいただき、語ってもらった。

(東京の観光経済新聞社)



湯本氏

【司会】まず、自己紹介を兼ねてそれぞれの宿の特徴、経営の状況を伺いたい。

ベビーへの対応強化 夜観光推進で魅力増

佐藤 湯本

【司会】まず、自己紹介を兼ねてそれぞれの宿の特徴、経営の状況を伺いたい。

軒先が同じ温泉地にあるの客室は65室。都内への知れ度はまだ低く、利用者は県内比率が8割強。中でも、2016年に屋上ルフトを完成させた。18年には、100%の取組を推進し、スノーモンキーとルフトを組み合わせ、地域密着の魅力をアピールしている。



有村氏

【司会】まず、自己紹介を兼ねてそれぞれの宿の特徴、経営の状況を伺いたい。

6年をピークに結婚や転職を希望する従業員も出てきた。成長が会社の成長につながることを、常にやらなければならないと考えている。

【司会】まず、自己紹介を兼ねてそれぞれの宿の特徴、経営の状況を伺いたい。

【司会】まず、自己紹介を兼ねてそれぞれの宿の特徴、経営の状況を伺いたい。

【司会】まず、自己紹介を兼ねてそれぞれの宿の特徴、経営の状況を伺いたい。



野澤氏

【司会】まず、自己紹介を兼ねてそれぞれの宿の特徴、経営の状況を伺いたい。

保育を支援し定着化 環境整備で雇用拡大 期限を決め問題解決

菅野 野澤 有村

【司会】まず、自己紹介を兼ねてそれぞれの宿の特徴、経営の状況を伺いたい。

【司会】まず、自己紹介を兼ねてそれぞれの宿の特徴、経営の状況を伺いたい。

【司会】まず、自己紹介を兼ねてそれぞれの宿の特徴、経営の状況を伺いたい。



ずっとずっと、水と生きていけますように。 「いのちの未来」を考えることは 「水の未来」を考えること。 私たちサントリーは、森を育て水をはぐくみ、 100年先200年先の未来へと おいしい水を届けてゆこうと思います。

水と生きる SUNTORY